



見える振動試験!!

非接触変位量解析システム

決定的瞬間を捉える高速度カメラとIMVの振動技術のコラボレーション

特長

1. 高速度カメラのイメージセンサー

画像トリガ機能により、自動で毎秒2000コマのスローモーション映像を保存。繰り返し記録搭載。

2. 簡単非接触計測

計測したい場所にシールなどを貼るだけで、5か所の変位量計測が簡単に行えます。

3. 振動制御器“K2”との同期

試験開始・終了はもちろん、映像記録及び静止画記録と振動データの保存の同期もできます。



リアルタイムで計測可能

画像と波形を同時にリアルタイムで確認。後処理の時間が省けます。



長時間計測可能

従来に比べて計測可能時間が大幅に延長。



主な機能

カメラコントロール機能

画像・CSV保存

前処理、追跡設定

キャリブレーション機能

画像エリアトリガー機能

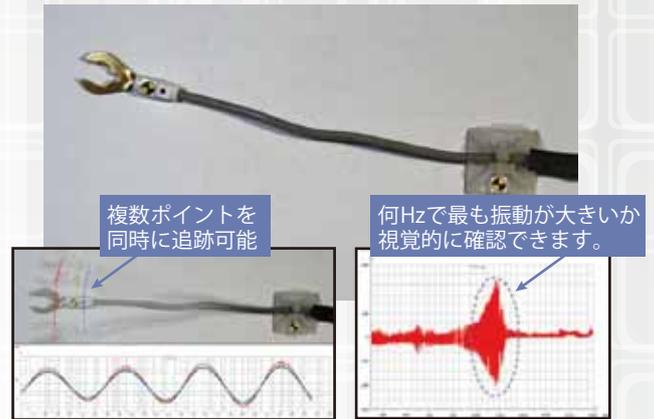
DA 変位量出力機能

① 外観検査



自動車や建造物などサンプルが大きい場合、複数ポイントを付けることが多く、事前準備が大変です。本システムでは、映像を見ながら計測できるので全体の動きとそれぞれの位置が一目瞭然に確認していただけます。

② 小型部品検査



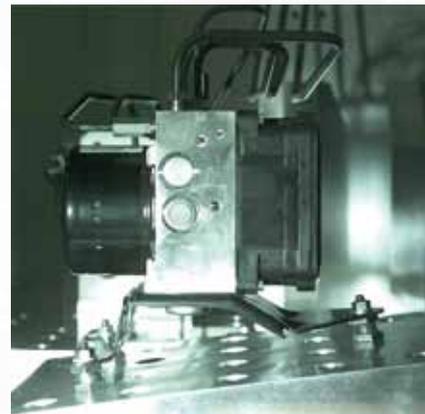
ハーネスなど小型部品の場合、センサーを付けることによって対象が影響してしまうことがあります。本システムでは、非接触計測なのでありのままの状態での計測が可能です。

③ 内部検査



電球内部フェラメントや恒温槽内部のサンプルを計測する場合、ガラスがあって物理的にセンサーを使用することができません。本システムではイメージセンサー方式なのでガラス越しでの計測が可能です。

④ 耐久試験



耐久試験の場合、供試品が破損するという事はあります。計測点の位置や、計測した変位量からトリガーを入れることができるので、破損の瞬間をスローモーション映像で保存するとともに試験終了の制御も可能です。また、破壊にまでいたる供試品の変化を一定間隔で保存する機能も搭載しています。

計測方法

